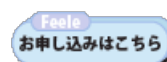


Last Update  
2005.12.17

[>ホーム](#) [>トラブルシューティング](#) [>お問い合わせ](#) [>サイトマップ](#)  
[>プライバシーポリシー](#) [>特定商取引に関する法律に基づく表示](#)

残り421セット!

[<The REAL English Audio>](#)



## 今ある音声教材に不満をお持ちのあなた、完全に無料で「本物の」英語を使ったリスニング教材、試してみませんか？

「昨年初の海外旅行をしました。ハワイだったんですが、ほんとに英語がわからない(TOT)きちんとCDもたくさん聞いて、英会話スクールにも通ってたし、ハワイなら大丈夫かなと思ってたんですが。。。私が学んできた英語との差にかなり凹みました・・・。」

吉さん Inner Circleメンバー

「どうして外人はあんなに速く英語をしゃべるんですか？」

ちるみるさん Inner Circleメンバー

リスニングの力を、来年こそは上げたいあなたへ：

こんにちは、Feel English Inner Circle代表、KENZOです。

上の引用は、僕のところに寄せられた苦悩のメールの一部です。

実際、本当にたくさんの方がリスニングで苦勞されています。

もしかして、あなたもそうですか？

実は・・・たくさんの方のリスニング用CDが販売されている現在の日本において、ついに「本当に効果的な」リスニング教材を作りました。

いまからほんの少しだけ、こんな時代にあえてリスニング用教材を作った理由をお話します。

もしあなたが、「リスニング力を伸ばしたい、そのために一生懸命CDを聞いたり音読したりしている、でもいまだに・・・」という人なのだとしたら、このページを読むだけでも「なぜリスニングが出来るようにならないのか」「どうしたら出来るようになるのか」がわかると思います。

今までのやり方で効果が出なかった、それは「当たり前だったんだ」ということを知ってショックを受けるかもしれませんが、もしあなたが本気ならば、是非読み進めてください。

## 「もう十分CDが出てるんだから、いまさらリスニング用教材なんていらぬわよ」

これは、アメリカで生まれ育ち、今では完全なバイリンガルとして生活しているKENZOスタッフの一人から出た言葉です。彼女は時々企業通訳として世界中を飛び回っています。日本語も英語も同じくらいに流暢です。

そんな彼女が、「リスニング教材はもう十分ある」と言ったものだから、さすがの僕もわざわざ作る必要ないのかなあ、なんて思ってしまった。

確かに、本屋に行けば、それこそ無数のCDブックがおいてあります。毎週何十冊の新刊が発表されているかわからないほどです。

「とりあえずCDをつければいいんじゃないか」「今の時代CDがなければ売れないんじゃないか」という安易な考えの下にこうなっているのでしょうか、それにしてもあまりの数です。

この現実を見れば、「いまさらリスニング用教材なんて」という発言も、十分に納得できる話ではあります。

しかしながら、かねてより市販の音声教材には不満を持っていましたので、いくつかの「リスニング用CD」を彼女本人に聴かせてみることにしました。

するとどうでしょう、15分くらい黙って真剣に聞いていた彼女が急に僕のところへ来て、おもむろにこう言ったのです。

## 「リスニング用教材、作りましょう」

彼女が意見を変えるまで約15分。

あまりの豹変ぶりに、さすがの僕もびっくりし、理由を尋ねました。

すると彼女は、こんな理由を挙げてくれたんです。

「まずスピードが遅すぎる。こんなゆっくり話すネイティブはいないし、話されたら少しいらいらするかも。

次に発音がきれい過ぎて、むしろ気持ち悪い。あらゆる単語をクリアに発音しているけど、そんなのはアナウンサーみたいに訓練を受けた人じゃないと無理。日本人だって、普通カツゼツが悪かったり、その人なりの話し方の癖とかあるでしょ？それと一緒に。

あとは訛りがないことが問題ね。アメリカの中でだって訛りがひどくて同じ英語とは思えない英語を話している人が多いのに、こんなに訛りのない英語は逆に誰も話さないんじゃない？」

なるほどなるほど。

要するに彼女が言いたいのは、

1. 音読スピードが時にいらいらするほど遅い
2. 発音が気持ち悪いほどきれい過ぎる
3. 現実にありえないほどに訛りがなさ過ぎる

ということのようです。

さすがにアメリカで生まれて大学までずっとアメリカで過ごしてきた彼女の言うことは的を射ています。

**結局、今日本で手に入るCD教材のほとんどは、実際海外に行ったときに「役に立たない」ってことなんですね。**

CD教材を死ぬほど聞いて、死ぬほどシャドーイングして、死ぬほど暗記していても、全く聞き取れないし、通じない、ってことがほとんどの場合起ります。

多分、マックですら注文できないですよ。

僕は初めて海外に行った人でマックを十分に堪能した人を知りませんから。

それはそもそも学んだ英語と「本物の」英語が、天と地ほど差のあるものだからです。あ

る意味では、当たり前なんですね。

もしかして、あなたにもそんな経験がありますか？

**「じゃあ、どんな音声で学習したら一番効果があるかな？」**

僕は尋ねました。

「そんなのは簡単。今言った欠点を全て補ったものでやればいいのよ。」

「というと？」

「まず、ネイティブにとっての「普通」で読んでもらうこと。1分間に150語がナチュラルスピードとか言われてるみたいだけど、そもそもそういった話とは次元が違うわ。問題は単純に速い、とか遅い、とかではないの。」

「へえ・・・。」

「それから訓練を受けていない人のほうがいいわね。訓練を受けた人に会う可能性なんて、ほんとに低いわよ。ごく普通の人が理想。」

「そりゃ、そうだよなあ（笑）。」

「あとは訛りにも慣れないとだめ。アメリカはあらゆる町にあらゆる訛りがあるから、たとえば同じニューヨークでも昨日道を聞いた人の英語はわかってても今日聞いた人の英語はわからない、なんてことは十分にあるもの。」

「ああ、そりゃそうだよな・・・。よく考えてみたら、そうだった気もするよ。」

「だから理想としてはいろいろな人が読んでいる方がいいわね。一人のナレーターが読むんじゃなくて。」

「なるほどー・・・。」

**確かにそんな音声教材は、今までどこにもなかったかもしれない・・・。**

僕はあらためてそう思いました。

このようなやり取りがあり、この音声教材の方針は固まりました。

1. 「本当の」ナチュラルスピードで読む
2. 訓練を受けていない「普通の」人が読む
3. いろいろな国、地域の人が読む

というのがそれです。

これらをふまえ、今までありそうでなかった音声教材を作りました。

今までたくさんCD買って聞いて、音読して、がんばってきたけど思うような結果が出ていないあなた、そろそろ「本物の」音声でリスニングの訓練をしませんか？

## で、どんな内容なのさ？

と思いませんか？それを今から説明しますね。

この音声教材は、The REAL English textで用いた英文を読み上げてもらったものです。

「遅い」「普通」「速い」という3段階のスピードで、各文2回ずつ、読んでもらっています。

一回目と二回目の間にはポーズがありますので、真似して音読するのに適しています。どんどん音読してください。

リスニングが苦手ならば、まずは「遅い」もので口慣らし、耳慣らしをしてから「普通」そして「速い」ものへと徐々にステップアップしていくのがよいでしょう。

例文はThe REAL English textからとってきていますので、「今」読み書きされている英語であり、話されている英語です。その英語のリズムをあなたに刷り込めば、リスニングなんて全く問題なくなります。

また、某通信販売業者さんがやっている、機械の力で2倍速、3倍速なんてものは、ネイティブが速く読む「速さ」とは全く異なるものですので採用しませんでした。

そんな機械的に速くしたものよりも、「実際に速く読むとどうなるか」を知ったほうがどんなにか実践的ですね。だから、ちょっと（かなり？）無理言って無理やり速く読ませたパートを作りました。

当然、何回も録り直しましたが・・・（苦笑）。

このパートが難なく理解できたらあなたは無敵。

難なく音読できたらスピーキングも無敵です。

ネイティブ並みと言っていいでしょう。

量は、全てあわせるとワードファイルにして60ページ前後になります。

かなりのボリュームがあり、びっくりしてしまうかもしれませんが、そこは安心してください。この音声教材、**The REAL English textと同じく、週刊です。**

毎週こなさなくてはならない英文は、高々1～2ページ。

1日5行～10行程度です。

そのくらいなら全く問題なく学習出来るはずですよ。

**自分のレベルにあったスピードからはじめて、週の終わりには「速い」スピードが何とか聞けて、言えるようになっている。**

**このように小さな達成感が、毎週味わえるのです。**

月刊ではどうしても継続できなかったリスニングと音読。

今日を境に、生きた「今」の英語を週刊で自分のものにしていってしまおうよ。

**そうそう、価格は、大きく抑えることに成功しました。**

実は、この、ありそうでなかった画期的な音声教材なのですが、普通にやるとかなりのコストがかかってしまい、なおかつ何十万人も会員のいる通信教材会社のような販売数は見込めませんから、正直80000円くらいにしないと採算が合わないという計算になってしまいました。

しかしそれではあまりに敷居が高いような気がします。

80000円といえば、やはり大金。

いくら80000万円以上の価値があったとしても、それを出せるのか出せないのかは全く別問題なのです。

そこでひたすら考え、コスト削減を行いました。

主に行ったのは、録音環境にかかるコストの削減です。

きちんとしたスタジオを借り、機材を借り、専門家を雇い、とやっているとならば、本当に一回の録音で100万とか200万とか飛んでいってしまいます。

それを毎週やっていたら・・・。

そこで僕らは「自主録音・自主制作」という方針で行くことにしました。

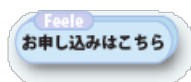
簡易機材で、なるべく静かな環境で、編集は自分たちで、というある意味で自給自足です。

これにより、格段にコストが抑えられ、その結果、価格もぐっとおさえられることになりました。

最終的に決まった価格は、当初の予定の半額以下、29800円（税込み後31290円）です。

この価格設定には、僕ら自身が一番驚いています。

やれば何とかなるものです。



ちょっとこの教材について確認してみましょう。

1. 「本当の」ナチュラルスピードで読み、
2. 訓練を受けていない「普通の」人が読み、
3. いろいろな国、地域の人が読み、

4. 「遅い」「普通」「速い」という3段階のスピードで、各文2回ずつ、読んで、
5. なおかつそれらが週刊で送られてくる。

という、これだけで本当に十分だといえるほどのものになっています。

むしろ、僕がまだリスニング苦手だったときにほしかったものになっています。そうすれば、こんなに苦労し、遠回りしなくてすんだはずなのでから・・・。

この教材で継続すれば、一カ月後、かなりリスニングとスピーキングに自信のついている自分に驚きますよ。これは、僕が保証しましょう。

ええ、他の教材では「全てやり終えたら」とかそもそも無理な条件付でリスニング力の向上を保証して（ないと思いますけど一応）いると思いますが、僕は異例の「一ヶ月で効果実感保証」をお付けします。

#### 一ヶ月で効果実感保証

1. 私は、あなたがこの音声教材を用いて、私が提案するとおり真剣に訓練に励んでくれたならば、一カ月後には格段にリスニング力とスピーキング力が向上していることを保証します。
2. 私は、もしあなたが一カ月後、きちんと学習したにもかかわらず上記に保証された効果を実感できない場合、あなたが払った代金を全額返金することを保証いたします。この全額返金保証は申し込み日より30日間有効で、その間であればいつでも返金に応じます。また、その際に返品義務は生じません。教材はそのまま持っていてください。

どうでしょうか？

何と全額返金保証までつけてしまいました。

一カ月後に効果が実感できなければ全額返金、ということは、あなたはタダ



でこの教材を一ヶ月も試せるということです。

他にこんなに長期の返金制度を設けている業者はないと思いますが、僕は自分の教材に絶対の自信を持っていますので、このような制度を設けました。

高額な教材に散々失望させられてきたあなた。

全く効果の出ない音声教材に失望されてきたあなた。

がんばったはずなのに現地でポコポコに凹まされたあなた。

今こそ、「本物の」教材でやり直すときではありませんか？

**しかも、はじめの30日間は、無料なのです・・・。**

ちなみに、音声の形式はmp3でのダウンロードになります。

CDなどを作ってしまうと余計にコストがかさみ値段が高くなってしまいますし、別途送料などを請求するということにもなってしまいます。

**その点ダウンロードならば価格も抑えることができ、追加費用の心配は一切ありません。**

iPodなどに入れて外出のお供にすることも出来ますので、好きな時間にどんどん聞いて、音読してください。

隙間時間の有効活用は、忙しいあなたの強い見方ですよ。

また、先ほど言いましたとおり、この音声教材は録音から何から完全に自主制作です。

**市販のCDのような「超」きれいな音質を望むのでしたら購入は控えてください。**

一応、以下にサンプルを示しますので、この音質に耐えられないのであれば、申し訳ないのですが他の「至れり尽くせり」な教材を当たってください。

これも全て「本物を」「出来るだけ安く」あなたに提供していこうという努力の表れなのだと思います。と幸いです。

サンプルは[こちら](#)

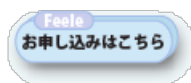
## さあ、一ヵ月後のあなたの姿が見えますか？

今まで本当に苦労してきたリスニングが、何をしても効果が出ないと思っていたリスニングが、少し身近なものになっている。

そんな日ももう、目の前ですよ。

これから一緒にがんばっていきましょう。

今すぐに下のボタンをクリックして、僕に連絡をください！



P.S. 1500円のCDブックを買い、世界中の誰も話さないような英語を必死に聞き取り、音読するのは、それが趣味でない限りはやめた方がいいと思います。

かといって、それが50000円以上の通信教材になったところで、中身は同じ。

今あなたに必要なのは、「今実際に使われている」英文を「今実際に話されている」スピードで聞き「今実際に話されている」スピードで話せるようになることではないでしょうか？

そのために必要なものはなんだと思いますか？

そう、今あなたの目の前にあるものですよ。

P.P.S.ああ、忘れるところでした。

今、この教材を申し込まれると特別に全文のスキリプトと日本語訳をお付け  
します。

これで「何言ってるのかさっぱり」とか「意味がわからない」などというストレスから完全に開放されたことになります。

心おきなく訓練に励んでください。

P.P.P.S.そして、ですね、これは全くやるつもりがなかったのですが、少しでもあなたのお役に立てたらと思って

**「日本人にはわからない、リスニングのポイントニュースレター」（非売品）**

を不定期的に発行することにしました。

ニュースレターはメールでお届けすることになりますが、内容はリスニングのポイントに特化して行います（もちろんそれはそのまま「発音のポイント」にもつながりますが）。

「毎週」発行するというわけではなく、大事なところがある限り発行します。

ですから、ある週は発行されないけれどある週は3回発行される、なんてこともあるかも知れません。

このニュースレターは、この音声教材を申し込まれた方にしか送りませんし、別途お金をいただいて販売するという事も考えていません。

どのみち今月末には全ての申し込みが打ち切られますからね。

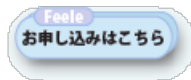
リスニングを何とかしたい、あなたのために僕が作るニュースレター。

世間でよく言われている、膨大な量の「リスニングの法則」「発音の法則」にうんざりした経験のあるあなたにこそ読んでほしい内容です。

P.P.P.S.上のプレゼント、「日本語訳&スクリプト」「リスニングのポイントニュースレター」両方含んであなたがしなくてはならない投資額は31290円のみです。

あと421セット、残り数日。

遅れないようにしてくださいね。



[>ホーム](#) [>お問い合わせ](#) [>プライバシーポリシー](#)  
[>特定商取引に関する法律に基づく表示](#)

Copyright(c) 2005 feelenglish.inc All rights Reserved